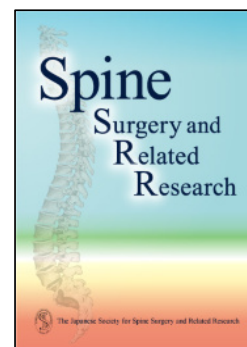


1. 開催概要

令和3年9月16日 Web開催(Zoom)

参加委員:千葉一裕, 平林茂, 折田純久(委員長), 加藤 真介, 川口 善治,
高橋 寛, 根尾昌志, 長谷川 和宏, 橋爪洋, 中嶋秀明, 藤田順之
杏林舎:岡田, 田村, 霧間, 小嶋



2. SSRR 報告事項

① 2021年第5巻より年6回発行(1, 3, 5, 7, 9, 11月)

② 初回査読終了までの期間(2021/1/1~9/7)

・初回査読終了:17日(2020年 平均16.7日)

・acceptまでの平均日数:51日(2020年 平均53日)

③ SSRR掲載論文の医中誌へのAbstract邦訳と掲載について

事前にメール審議にて委員会で承認となった内容を報告した。

申請者:医学中央雑誌刊行会 編集部著作権担当

内容:SSRRのAbstractを医中誌編集部側で邦訳し, 医中誌に掲載する。内容は医中誌側で完結し文責は医中誌にあることを明記のうえ, 内容修正の申し立ては随時可能。

SSRR投稿時に, 著者にAbstract翻訳版を掲載することの同意をとる(Step5で新たな項目を作成)

④ 杏林舎より報告

A. HP改修

B. 投稿・査読状況

海外からの投稿も増加。採択率 31%(全体), 26%(Original Article):現状の採択率でよい

C. 掲載論文数

2021年は71本を掲載:年間6巻としたが, 掲載数・待機論文数共に順調。

D. 被引用状況

他誌への引用率は急速に上昇している。

自己引用率 11%まで低下(前回14%)しており順調(SSRR掲載論文でのSSRRからの引用率)。2019年よりReview Articleを前半号に掲載することで, 被引用数の増加に寄与。

E. IF暫定値・申請状況

IF暫定値 1.028

MEDLINE審査で指摘を受けた改善点について, 投稿規定やHPなど形式的な部分の対応は処理済につき, 2年後の再申請を前提に今後投稿論文の領域やインパクトなどを査読において確認, 指摘のあったSystematic reviewを執筆いただける著者をあわせて検討する。

F. アクセス状況など

2021年5月~6月 Trend MDを試験的導入:掲載広告に対するクリック率は0.2%(一般的なクリック率(2-3%程度)からは低い水準)→引用率上昇への貢献度は現時点では判断できないので, 今後採用するか否かは経過をみて最終的な検討を行うこととする。必要に応じて杏林舎側で追加の試験運用を実施予定

3. 審議事項

① 今後の特集号計画について

SSRR 5(5) 頚椎 OPLL ガイドライン特集号 (担当:川口善治委員)

今後は半年に 1 度程度のペースで以下のガイドライン特集号を発刊する。執筆者を各 GL 委員長が指定し、SSRR 委員がこれを監督する。

1. 腰椎椎間板ヘルニア(委員長:波呂浩孝先生)
2. 頚椎症性脊髄症 (委員長:渡辺雅彦先生)
3. 腰部脊柱管狭窄症 (委員長:川上守先生)

② IF 取得の現状と今後の方針の確認・検討

※2021 年 SSRR 暫定 IF: 1.028 (2020 年 0.879)

- JSSR からの News Letter に、暫定 IF や citation 率上昇の情報を掲載し、会員の投稿意欲を上げる。
- OPLL ガイドライン同様に特集号を考慮(上記):腰椎椎間板ヘルニア, 頚椎症性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症
- 上記のような対応で、質の高い論文掲載料を増やし、citation をあげることを考える。

③ 国際的な認知度向上に向けての方策

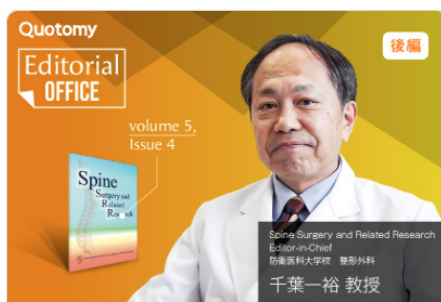
下記のような委員会での提案について JSSR 理事会で議題として挙げて頂く(*)。

- 過去 10 年の JSSR 学会長に Review Article を依頼(会長講演内容、もしくは専門分野について)*
- 学会特集号の掲載:主題やシンポジウムの short summary を掲載して、海外へのアピール材料とする*
→ どのような掲載方法をとるか(発刊号のひとつに掲載する、もしくは Supplemental で発刊する、など)、double publication への対応については今後さらに詳細をつめる必要がある (double publication 対策は杏林舎からの確定的な情報も頂きたい:著者が double publication を心配せずに対応できるための手段・情報提供方法など。ごく簡単なサマリーやポイント表記など)
- 委員より情報を収集し、改めてこれまで invite していない海外 Dr のへの投稿依頼を行う。また、脊髄再生や椎間板再生などの Review Article を各領域の opinion leader に依頼

4. その他

① Quotomy (医療者用 SNS) インタビューのお願い

<https://quotomy.com/originals/eo/ssrr/>



SSRR vol.5 no.4 後編



SSRR vol.5 no.3 前編

SSRR 委員が、最新号に掲載された論文をインタビュアーと対談形式で討論する形式。

今後、隔号で各委員にもご担当をお願いしたい。

→ 次回 5(5)は川口先生、以後折田委員長・DE が順次担当する

② 次回会議について

来年 4 月の JSSR の 2-3 週前に Web 会議予定